

20日機輸プ第265号
平成21年1月15日

日本機械輸出組合
理事長 宮原賢次

国際金融危機下におけるプラント・エンジニアリング金融
に関する緊急要望の提出について

拝啓 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当組合事業に対し格別のご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。

プラント・エンジニアリング業界の発展にも格別なご配慮を賜り、感謝申し上げます。

さて、この度の未曾有の金融危機は、プラント・エンジニアリング業界にも深刻な影響を与えておりますが、事態の打開にあたり、是非、政府および関係ご当局のお力添えを賜りたく、今般当組合関係委員会において、別紙のとおり金融収縮に対する緊急要望書を取り纏めました。

よろしくご高配のほど賜れば、幸甚でございます。

敬具

(本状提出先)

財務省 国際局 局長 玉木林太郎 殿

経済産業省 貿易経済協力局 局長 藤田昌宏 殿

経済産業省 製造産業局 局長 細野 哲弘 殿

株式会社日本政策金融公庫 国際協力銀行 経営責任者 渡辺博史 殿

独立行政法人日本貿易保険 理事長 今野秀洋 殿

国際金融危機下におけるプラント・エンジニアリング金融
に関する緊急要望について

日本機械輸出組合
プラント輸出総合対策委員会

ご高承のとおり、今次の金融危機につきましては、その世界的な広がり大きさや影響の深刻さが歴史的な危機として認識され、IMF ならびに各国政府が米ドルを含めた流動性確保のため、迅速かつ大規模な対応を行い、わが国政府におきましても様々な対策を講じていただいております。

しかしながら、世界的かつ同時的な経済の萎縮から経済活動は大きく停滞し、拡大のための資金需要減の中で、BIS 規制の下、民間金融機関は与信にあたりリスク管理強化の方向にあることから、IMF・中央銀行の金融緩和策の効果が实体经济に浸透するには時間を要するのではないかと危惧されます。

金融危機の影響はプラント・エンジニアリング海外市場においても、インフラ投資の後退、進捗プロジェクトの停滞・先送りの状況を発生させ、更に円の上昇が競争力低下に拍車をかけ、また現地通貨の下落により客先の代金支払いや海外事業採算の悪化も生じています。

こうした中において、先般 OECD では輸出信用と金融危機に関する声明を発表しておりますが、公的輸出信用機関への期待は従来以上に高まっており、特に先般発足しました(株)日本政策金融公庫・国際協力銀行(JBIC)や独立行政法人日本貿易保険(NEXI)の役割および機能への期待には大きなものがあります。

1997 年のアジア通貨危機同様、金融危機時においては長期の安定的な資金供給が、不可欠であります。先般、政府におかれましては、わが国企業の輸出および海外事業について、JBIC の融資範囲の拡大や NEXI による付保率及び付保対象の拡充に関して、速やかにご対応をいただき感謝申し上げます。

更に、以下のご高配を賜りたくここに要望する次第です。

記

1. 協調融資における JBIC ポーシヨンの拡大

JBIC の融資は民間銀行との協調融資が原則ですが、現状況下、協調融資の組成が困難な場合は、流動性確保のために JBIC ポーシヨンの拡大や、例外的に JBIC 単独融資を可能とするよう弾力的な対応をお願いしたい。また、そのための財源も含めた JBIC の資金量確保もお願いしたい。

2. 協調融資条件の弾力的対応

金融市場の不安定化の中、民間金融機関の融資条件が厳しくなることにより、わが国の協調融資条件が他国の供与条件等に比して劣後しないよう、JBIC の融資条件の弾力的な対応をお願いしたい。

3. 日本企業の現地事業に対する JBIC による緊急融資

現地における信用収縮、現地通貨為替レート大幅下落などによる現地事業継続困難が生じた場合には、JBIC による緊急融資をお願いしたい。

4. 先進国向け金融の拡大

先進国向け投資金融の拡大の方向性がいわれておりますが、原子力発電所に加え、先端医療プラント等の最先端技術を含め幅広い産業に JBIC の融資を拡げ、潜在的な資金需要にも柔軟に活用できるようにしていただきたい。また、OECD 諸国の公的輸出信用機関が先進国向けに信用供与を行っている場合には、マッチングに該当しなくても同様に適用をお願いしたい。

5. 日本貿易保険による弾力的な引受

自己資本比率規制の制約の下で民間金融機関による融資が円滑に行われるよう、NEXI による保険の引受をこれまでどおり維持・継続するとともに、付保率の引上げや政府による再保険てん補率の引上げなどについてもお願いしたい。

以上